十、啓扉

礼生が、大成殿に向い合う儀門（五つの門）及びその外の櫺星門（五つの門）⑨を開きます。

孔子廟の儀門・櫺星門は、通常は閉ざされており、祭典の時に開けられますが、終わると又閉められます。通常は、脇の通用門から出入りし、孔子への尊敬を表します。

十一、瘞毛血

瘞（えい）、埋葬の意味です。祭典に用いる犠牲の太牢は、先に屠殺しておき、その毛と血を容器に入れておき、ここで礼生が捧げ持って中庭・儀門・櫺星門を通り、門の外の西側の土に埋めます。伝統的な習慣では、祭祀に畜牧の犠牲を供えます。家畜は大地で成長するので、屠殺後にその毛と血を土に埋めて、大地に帰し、土地に万物の栄養を提供し、万物の休みない成長を促します。毛と血を埋める場所は西側です。西は五行で金に属し、屠殺を代表するからです。

十二、迎神

楽生がまず太鼓を三回叩き、楽長が高らかに「咸和の曲演奏」と宣言すると、麾生が麾を高く上げ、司柷者⑩は柷を三回打ち、鼗⑪を三回振ります。その後、一斉に音楽が奏でられ、斉唱の声が響きます。音楽の演奏は四拍子で、楽句の前に鎛鐘⑫が打たれます。更に拍子に合せて搏拊⑬が叩かれ、第一拍には編鐘⑭及び拍

---

⑨櫺（れい）、櫺星は天上の星宿の一つで士を司るため、孔子廟第一の大門は櫺星門と呼ばれる。

⑩柷（しゅく）、演奏開始に用いる楽器、箱状木製で赤く塗られる。

⑪鼗（とう）、太鼓の一種で小さく、柄が付き両脇に振子があり、柄を持って揺らして振子を当てて音を出す。また搏浪鼓とも言う。

⑫鎛（はく）鐘の一種で特に大きく、特鐘とも言う。

⑬搏拊（はくふ）、皮でできた楽器の一種、太鼓のようだが中に米糠が入っており、リズムを取るのに用いる。拊搏・撫拍とも言う。

⑭楽器の一種、二十四或いは十六、十四の鐘を組合せ、大きな掛け台に吊るして用いる。

板⑮が、第三拍には編磬⑯が加えられます。楽句の終了毎に特磬⑰・鎛鐘・建鼓一回、應鼓⑱二回を叩き、これを三回繰り返します。これで一楽句が終了し、続いて同じように第二楽句に移り、曲が全部終了するまで繰り返されます。

音楽が始まると、礼生四人が双燈・双爐を捧げて前を行き、別に礼生六人がそれぞれ双斧・双鉞・扇⑲・繖⑳を捧げて後に従い、東西二列に分かれて、順序よく儀門と櫺星門の通用門を出てから外で合流し、孔子の神霊をお迎えします。お迎えしてからは、儀門と櫺星門の中央の門から入って、大成殿に進みます。神霊をお迎えし儀門に入るときには、通賛㉑が「全員起立」と声をかけ、出席者全員は大成門に向い心からの尊敬の念で孔子の神霊をお迎えします。孔子の神霊を大成殿にお迎えしてから、演奏は終了し、楽長が声高く「楽終る」と告げると、司敔者㉒は籈㉓を取り敔を三回叩き、また背中の齟齬を三回こすります。これを受けて麾生は麾を置きます。

迎神は、本当に神霊の降臨を迎えるわけではなく、生者の死者に対する尊敬の念を満足させるために考え出された儀式の一種と言えましょう。

十三、掬躬礼

迎神の列が大成殿中庭の中央に戻ってくると、通賛が高らかに「一掬躬」、「再掬躬」、「三掬躬」と呼びかけ、参列者はこれに合せおじぎをして、孔子への尊敬を表わします。

---

⑮楽器の一種、九枚或いは六枚の木の板からなり、手に持って打ち鳴らしてリズムを取る。また、春臼とも言う。

⑯楽器の一種、十六の厚みの異なる磬からなり、それぞれ高さが異なり、音楽を演奏できる。大きな掛け台に吊るして用いる。

⑰楽器の一種、石で作られ特に大きく、掛けて用いる。

⑱太鼓の一種。柱でこれを支えて立て、台座は十字形である。

⑲扇、太陽の光を遮る道具で、扇霎・障扇とも呼ばれる。

⑳繖（さつ）、雨や太陽を避ける器具、つまり傘。

㉑祭典のうち次第を伝え、進行を助ける礼生。

㉒敔（ぎょ）、楽器の一種。木製で形状は虎に似ており、背中に二七の歯の形の齟齬がある。演奏が終了するとき、竹または木で齟齬をこすり音を出し、終了を告げる。

㉓籈（けん）、楽器の一種、竹或いは木十二本を一束として、敔の背をこすって音を出し、音楽終了を告げる。

十四、進饌

お供えの品は、神霊に捧げるものです。事前に、お供えの机に並べてありますが、礼生はこの鉶㉔を形ばかり動かして、また元の位置に戻します。

古代の祭祀には、死者には生者と同じく仕えると言う原則があり、お供えの品は死者が生前に用いていたものと同じです。これにより、生者にとっても死者がまだ生きているように考えられるのです。

十五、上香

楽長が高らかに「寧和の曲演奏」を告げると、麾生は麾を持ち上げ、楽長は拍板を三回打ち、一斉に演奏が始まります。四拍子のリズムで第一拍には拍板拍子毎に搏拊が打ち鳴らされますが、建鼓と鎛鐘は鳴らされず、歌もつきません。

音楽が始まると、正献官は引賛に導かれて手洗いで手を清めてから大成殿のお供えの前でお香を上げ、三回お辞儀をします。同時に、分献官も引賛に導かれて手を清めてから大成殿の東西配・東西哲、及び東西廡の先賢・先聖など、八か所のお供えの前でお香を上げ、三回お辞儀をします。

十六、初献礼

楽生の晋鼓及び鏞鐘は、鼓初厳と同じです。次いで楽長が「寧和の曲演奏」と告げると、麾生は麾を節生は節を高く上げ、柷を打ち、鼗を振り、鐘を鳴らし、音楽と歌声が一斉に響きます。佾生は、左手に籥㉕を、右手に翟尾三本を持って八佾㉖の隊形をなして楽の音に合わせてゆっくりと優雅に舞います。演奏が始まると、正献官は引賛に導かれて大成殿の孔子の位牌に帛㉗と爵㉘とをお供えし、三回お辞儀します。

㉔鉶（けい）、食物を盛る器具で金属製、足は三本で取手二つで鼎のような形だが、蓋がある。

㉕籥（やく）、楽器の一種で竹製、笛に似ている。

㉖佾（いつ）、舞踏の列を言う。八佾は、八人八列で六四人の踊り、周の制度では、天子八佾、諸侯六佾、大夫四佾、士二佾である。

㉗神に供える幣で、白い無文様の絹である。

㉘古代の酒器、今日の酒杯。

佾生は、小学生がこれに任じます。古代の舞踏は文舞・武舞・文武合一の舞いに分かれていますが、文舞は手に羽と籥を持った子供が、武舞は干戈を持った十五歳以上の少年が、文武合一の舞いは羽・籥・干戈を持った成人が行ないます。

十七、初分献礼

分献官は引賛に導かれ、東西配・東西哲・東西先賢・東西先聖の位牌に爵を捧げ、三回お辞儀します。

十八、祝文の朗読

音楽演奏が寧和の曲の第四句を終えると、楽長は楽終ると告げて、演奏も舞踏もやんで、麾生と節生は麾と節を置きます。通賛が高らかに「全員起立」を告げ、ついで礼生が祝文㉙を読み上げます。

十九、三掬躬礼

礼生が祝文を読みあげると、通賛が高らかに「一掬躬」、「再掬躬」、「三掬躬」と呼びかけ、参列者全員はこれに合せおじぎをします。これが終わると、楽長が音楽再開を告げ、楽生は拍板三回、鎛鐘一回と打ち鳴らし、麾生と節生は麾と節を持ち、寧和の曲の第五

句以下を演奏し、佾生は舞踏を続けます。演奏が終り、楽長の「楽終る」が告げられると、司敔者が敔を打ち、音楽は止んで、麾生と節生は麾と節を置きます。

二十、亜献礼

楽生が鼓再厳にならって、晋鼓及び鏞鐘を打ち、次いで楽長が「安和の曲演奏」を告げます。麾生と節生は麾と節を持ち上げ、柷を打ち、鼗を揺すり、鐘の音、音楽、歌声が響く中を、佾舞も始まります。曲が違うので舞踏も異なり、また途中の一時停止もありません。

正献官は、音楽と舞踏が始まると、引賛の導きにより、再び大成殿の孔子の位牌に爵を供えて、三回お辞儀します。

二一、亜分献礼

分献官は引賛に導かれ、東西配・東西哲・東西先賢・東西先聖の

㉙祭祀の時、神明に祈祷する文で、神明の功徳を讃え、福を祈り、その志を広めることを願うものである。

位牌に再び爵を捧げ、三回お辞儀します。

二二、終献礼

楽生の晋鼓及び鏞鐘は、鼓三厳と同じです。次いで楽長が「景和の曲演奏」と告げると、麾生は麾を節生は節を高く上げ、柷を打ち、鼗を振り、鐘を鳴らし、音楽と歌声が一斉に響く中を、佾舞が始まります。踊りはまた変化し、三回の奉納舞踏のうち、八佾の舞いは九六の舞い姿があることになります。

音楽が始まると、正献官は引賛に導かれて大成殿の孔子の位牌に三回目の爵のお供えをし、三回お辞儀します。

二三、終分献礼

分献官は引賛に導かれ、東西配・東西哲・東西先賢・東西先聖の位牌に三回目の爵を捧げ、三回お辞儀します。

二四、飲福受胙

正献官は引賛に導かれて、大成殿の香机の前で酒を頂き、お供えの肉を受けます。参列者全員が大成殿に三回お辞儀します。

胙（そ）、お供えの肉。古代の観念では、祭祀を行なうものは神

明に福を祈り、神明はお供え品に託して福を与えるので、お供えの酒をのみ肉を家に持ち帰るのは、神明の福を受け取ることになります。

二五、撤饌

楽長が「咸和の曲演奏」を告げ、楽生が拍板を三回鳴らし、咸和の曲第二首㉚が演奏されます。建鼓・鏞鐘はなく、拍板・搏拊でリズムを取ります。

音楽が始まると、礼生が机の上の籩㉛・豆㉜等の祭器をいくらか動かします。

二六、送神

まず楽生が太鼓を三回叩いて、楽長が「咸和の曲演奏」を告げ、

㉚咸和の曲は三首あり、曲調は同じだが歌詞が違う。第一首は迎神の時、第二首は撤饌の時、第三首は送神の時に演奏される。

㉛籩（へん）、食物を盛る器具、乾き物を盛り、竹を編んで作る。

㉜食物を盛る器具で、木製である。

麾生が麾を持ちあげ、司柷者が柷を三回叩き簨を三回揺すると、音楽と合唱が一斉に始まります。
神を迎えた礼生が、迎神の順にならって燈・爐・斧・鉞・扇・繖を捧げ持って、二列に大成殿の階段を降ります。この時、通賛は「全員起立」と告げ、参列者全員は孔子の神霊のお見送りを準備します。

二七、掬躬礼

送神の列が大成殿中庭の階段を降りてくると、通賛が高らかに「一掬躬」、「再掬躬」、「三掬躬」と呼びかけ、参列者はこれに合せおじぎをして、孔子の神霊が儀門・櫺星門を出るのをお見送りします。

二八、祝帛の燎所送り

礼生が祝文と帛を捧げ、大成殿から儀門・櫺星門を通り、門外に設けられた燎所に送り焼きます。
燎は焼くことで、古代人の観念では神明に捧げたお供えを焼くことで、神明は受け取るとしたのです。

二九、望燎

楽長が「咸和の曲演奏」を告げると、鐘太鼓が一斉に響き、第一拍は晋鼓、第三拍は鏞鐘を打ちます。正献官は音楽が始まると、引賛に導かれて燎所に赴き、祝文と帛が焼かれるのを見届けます。
分献官と陪祭官とは、大成殿南端の儀門の前で、燎所に向い合います。
望燎には、誠意をもって儀式の終りを見届けるという意味があります。

三十、復位

正献官は引賛に導かれて大成殿南端に戻り、殿に向き合い、分献官・陪祭官も同じく向き合います。

三一、闔門

礼生が儀門及び櫺星門の各門を閉めます。次回の祭典まで、これらの門は開かれることはありません。

三二、撤班

正献官・分献官・陪祭官・糾儀官が、引賛に導かれてそれぞれ退場します。

礼生・楽生・侑生は、建鼓の「五歩毎に一停止」のリズムに合わせて、東西二列に退場します。

三三、祭典終了㉝

㉝台北市は中央政府の臨時所在地であるので、終分献礼の後に通常は内政部長が代理となり「総統の上香」及び「総統の祝文朗読」と、「奉祀官の上香」が行なわれる。現在の奉祀官は、孔子第七七代子孫孔徳成氏である。

編鐘

楽器の一種、二十四或いは十六、十四の鐘を組合せ台に吊るして用いる。

鏞鐘

ようしょう、特に大型の鐘。

鎛鐘

はくしょう、大鐘の一種で特鐘とも言う。

特磬

楽器の一種、石製で大きく吊して用いる。

篇

やく、笛に似た楽器の一種で竹製。

帛

神に供える幣で、白い無文様の絹。

拍板

楽器の一種、九或いは六枚の板で手に持ち鳴らす。リズム用で春牘とも言う。

豆

食物を盛る木製の器具。

鉶

けい、食物を盛る器具で金属製、三足で取って二つの鼎形で蓋がある。

籩

へん、乾いた食物を盛る竹製の器具。

柷

しゅく、演奏開始用の楽器、赤く塗られ箱状で木製。

祝文

祭祀の時神明に祈祷する文で，神明の功徳を賛え福を祈り、その志を広める。

爵

古代の酒器、今日の酒杯。

敔

ぎょ、楽器の一種、木製で形は虎、背中に二十七の歯形の齟齬がある。演奏終了時に竹又は木でこすり音を出す。

籈

けん、楽器の一種、竹或いは木十二本を束とし敔をこすり音を出す。